

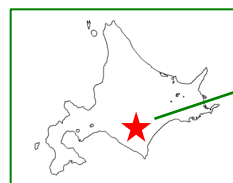
# 有限会社中島生産組合（北海道中札内村）

R4 補正  
R5 当初

02

## 背景・課題

有限会社中島生産組合は、平成13年に離農した法人牧場を引き継ぐ形で地元酪農家3名の出資により設立。令和元年に搾乳ロボット（40ポイントのロータリー式ミルキングパーラー）を整備し、規模拡大を進めてきた。これまで、家畜ふん尿はほぼ全量を自己管理農地に還元してきたが、今後、牧場の規模拡大に伴い、更に家畜ふん尿の発生量が増加するため、適切な家畜ふん尿処理が困難となり、周辺環境に臭気や水質汚濁等の影響を及ぼすことが危惧されていた。



中札内村

## 構 成 員

有限会社中島生産組合

## 品 目

## 成果目標

目標年度：令和8年度

○売電量 : 2,457,180kwh/年

○バイオ液肥利用量：11,889t/年

○堆肥利用量 : 4,032t/年

○再生敷料利用量：1,172t/年

## 主な取組内容

### エネルギー

酪農業で発生する家畜排せつ物をバイオガスの原料として活用。

家畜排せつ物由来のバイオガス発電を行い、二酸化炭素排出量の削減に寄与。得られた電力は自家設備で利用する他、売電し所得が向上。



バイオガスプラント（R5年3月完成）

### 資材

メタン発酵後の残さは固液分離し、固形分は堆肥や再生敷料、液体分はバイオ液肥として自家利用を行うほか、堆肥は地域の耕種農家へも販売し、地域の生産コストの削減に寄与。

### ●メタン発酵残さの利用方法



堆肥利用



再生敷料利用



バイオ液肥利用

## 普及に向けた取組

当取組は、村内初のバイオガスプラントとして、地域の酪農家のモデル的取組になることが期待されている。

バイオ液肥散布車（タンク容量10t×2台）を導入し、適期散布と散布作業の省力化を図り、バイオ液肥利用の普及に取り組んでいる。

問い合わせ先

有限会社中島生産組合 代表取締役 阿部敏巳 氏  
TEL：0155-67-8801